

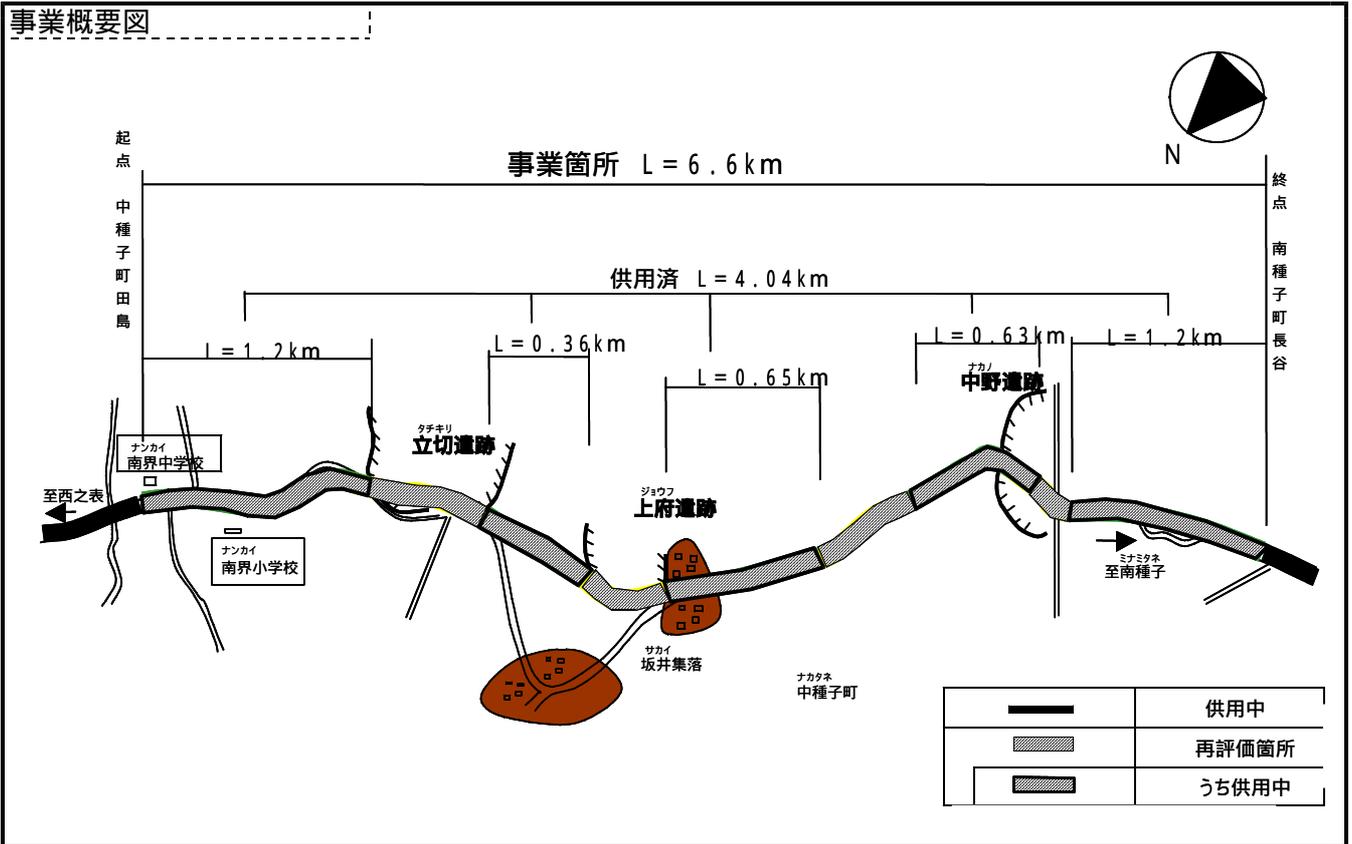
再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道58号 <small>なかたね</small> 中種子道路	事業区分	一般国道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県熊毛郡中種子町田島 至：鹿児島県熊毛郡南種子町長谷			延長	6.6 km
事業概要					
<p>国道58号は、種子島の西之表港から島内を縦断し島間港に至る幹線道路である。</p> <p>中種子道路工区は、中種子町田島から南種子町長谷までの延長6.6 kmの区間の道路改良であり、沿道には小中学校もあり人家が連たんし、通行車両や歩行者が多いが、歩道が未整備なことや線形不良の隘路区間も多いことから、危険な状況である。</p> <p>このため、歩道の整備と線形不良の隘路区間を解消することにより、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、島内外の交流・連携に資することを目的とする。</p>					
H 6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 6年度用地着手	H 7年度工事着手		
全体事業費	44億円	事業進捗率	79%	供用済延長	4.0 km
計画交通量	4,200台/日				
費用対効果 分析結果	B / C	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)	
	(事業全体) 1.0 (残事業) 4.0	11/55億円 (事業費：8/49億円) (維持管理費：2/6億円)		44/57億円 (走行時間短縮便益：39/52億円) (走行費用減少便益：4/4億円) (交通事故減少便益：1/1億円)	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線がある） ・災害への備え（緊急輸送道路としての位置付けあり） <p style="text-align: right;">他5項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
本路線は種子島における幹線道路であり、緊急輸送道路や観光道路でもあることから、地元は早急な整備を望んでいる。用地取得など事業推進については、用地交渉や用地調査など地元町の全面的な協力を得ている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
交通量（日当り）は2,569台/日（平成6年度）から3,344台/日（平成11年度）と増加（1.36倍）しており、道路改良の必要性はますます高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
一部区間において用地調査に期間を要しているが、平成15年度までに延長4.0 kmの改良工事を完了している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
未買収用地については、共有地や相続関係人が多数な用地があることなどから、用地調査に期間を要している。遺跡の発掘調査については、町教育委員会の遺跡調査員不足から、発掘調査に期間を要している。事業計画については、特段の反対もないことから平成18年度には完成する見込みである。					
施設の構造や工法の変更等					
切土量と盛土量のバランスをとることにより、残土発生量を抑え、コスト縮減を図っている。また、コンクリート二次製品の積極的な活用により、コストの縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。